

取組と目標に対する自己評価シート**タイトル:介護予防と生きがいづくりで生涯現役のまちづくり****目標を設定するに至った現状と課題**

本町の総人口に占める高齢者割合・高齢化率は年々増加傾向にあり、高齢者人口の推移は前期高齢者数は増加傾向、後期高齢者数は減少傾向となっていますが、総人口に占める割合は、徐々に縮まっています。また、一般世帯に占める高齢独居世帯・高齢夫婦世帯の割合は増加してきています。

本町はこれまで「セラバンド体操」を中心に、在宅高齢者の介護予防・重度化予防に向けた、介護予防活動を重点的に取り組んできており、要支援・要介護の認定者数と認定率は減少しております。ニーズ調査では、セラバンド体操の認知度は半数以上の人が「知っている」と回答しているが、前期高齢者の認知度が低いことや女性よりも男性の実施率が低い傾向にあることが課題です。

高齢夫婦世帯や高齢者独居世帯が増加していることから、今後、身体機能の低下等による閉じこもりリスクが増加することが考えられます。そのため、介護予防活動の重要性の啓発、地域で介護予防活動に取り組める集いの場への積極的な参加の推進を行う必要があります。

第8期における具体的な取組【P】**★町ぐるみで介護予防**

- ①介護予防手帳を使った「運動・口腔・栄養」の介護予防のポイントの啓発強化
- ②自主的な介護予防活動の継続に向け、専門職の支援体制を整備し、地域サロン等集いの場への訪問、指導、普及啓発の実施
- ③「津野町セラバンド体操」の普及
- ④地域サロン活動の推進

目標(事業内容、指標等)【D】

- 地域サロン等集いの場へ訪問型の普及啓発
- ・歯科衛生士による口腔機能維持及び口腔ケア方法等の健康教育実施
- 津野町セラバンド体操動画再編と町ホームページの動画配信
- パワーリハビリ事業実施と事業終了後運動習慣継続に向けた支援

目標の評価方法**●時点** 中間見直しあり 実績評価のみ**●評価方法**

- ・地域サロンや事業所等への訪問件数
- ・圏域ニーズ調査での「津野町セラバンド体操」認知度と実施率
- ・圏域ニーズ調査での会・グループ等への参加頻度の推移

後期(実績評価)【C】**実施内容**

- ①介護予防普及啓発事業
地域サロン等への健康教育実施数:36回、住民参加型のセラバンド体操DVD動画を改作
- ②口腔機能向上事業
実施箇所:1カ所3ヶ月実施 フォローアップ1カ所実施
- ③運動器機能向上事業
パワーリハビリ教室を通年利用、基本3ヶ月で終了形式に変更
- ④介護予防把握事業
基本チェックリスト実施者:674人
<機能低下リスク該当者>
運動:157名、閉じこもり:41名、認知機能:154名、口腔:61名、低栄養:3名
- ⑤人材育成研修事業
介護予防サポーター養成講座:1回、講座受講者:3人
- ⑥地域リハビリテーション活動支援事業
通所介護事業所訪問:32回、ケアマネジャー支援:43回
あったかふれあいセンター訪問:31回、地域サロン訪問:15回
- ⑦地域サロン支援
活動助成金申請数:32件

自己評価結果【O】 O、△、×**自己評価から考察した課題と対応策【A】****【課題】**

圏域ニーズ調査や介護予防把握事業から読み取れる健康課題の発信・共有
住民主体で取り組む介護予防活動の多様化
高齢者どうして心身機能や生活機能に関するセルフチェックができる環境づくり

【対応策】

地域サロン等への健康教育の機会健康課題の発信・共有
介護予防活動資源の利用と定着に向けた支援
高齢者の脚力、体力を自己点検できる指標づくり